

木育とは、
子どもをはじめとするすべてのひとが
「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みです。

それは子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、
人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。



平成27年度の木育活動をご紹介します



●木育についてのお問い合わせは
北海道水産林務部森林環境局森林活用課
所在地／北海道札幌市中央区北3条西6丁目
電話／011-204-5515

さわっていると、森にいるような気がする(木育事例集6) 発行／公益社団法人北海道森と緑の会 編集／北海道水産林務部森林環境局森林活用課

さわっていると、
森にいるような気がする

Mokuiku is an approach to encourage all people, including children, to "come in contact with wood, to learn from wood, and live with wood."

This aims to help people to nurture a rich mind through the use of wood in their daily lives since childhood, so that they can proactively consider the relationship between people and the woods and forests.

木育事例集6



さてさて、
木育に足を踏み入れてみますかね。

CONTENTS

北海道で生まれた「木育」
木育マイスターとは

- TOPIX～木育マイスターの新たな活動
北海道子育て木育実行委員会
釧路短期大学
- 木育マイスター支部の活動
道南支部
道東支部
- JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2015
- 北海道内各エリアの木育の取組
道央～札幌市、むかわ町、北広島市、苫小牧市
道北～東川町、旭川市、東京都
道東～帯広市、釧路市
- 国・企業・団体等による木育の取組
イトヨーカドー、マルヤマクラス・ドーコン
ツルハ・P&G、クルール、コープさっぽろ
江差信用金庫、北海道森林管理局 ほか
- 北海道による木育の取組
- 森づくりフェスタ2015
- 「希望」を「きぼう」でプロジェクト
- 北海道森と緑の会の活動
- 北海道の木育がわかる本・冊子

<上段左から>

- H27. 6. 12 釧路短期大学の学生による、帯広の森・はぐくーむでの体験学習
- H27. 8. 2 環境広場さっぽろ2015
- H27. 8. 6 もくいく交流会inおおぬま
- H27. 11. 9 平成27年度木育マイスター育成研修

<中段>

- H27. 10. 4 「植樹祭inわっさむ」での芽森(めもり)氏

<下段左から>

- H27. 12. 23 函館空港クリスマスイベント
- H27. 7. 21 (株)ジェーシービー社員による希望をきぼうでPJ
- H27. 10. 10 弟子屈町木育週間森林体験教室



「木育(もくいく)」とは？

「木育」は、平成16年3月に北海道で生まれた言葉です。
子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組で、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

平成16年度に「協働型政策検討システム推進事業」(検討テーマを公募し、選定されたテーマについて、政策検討から政策提言、施策の実施までを、道民と市町村職員、道職員によって組織されたプロジェクトチームで行う事業で、平成15年度から平成17年度まで実施しました)の検討テーマに、「子どもの頃から木を使うことで森林と環境を考える心を育てる『木育』の推進」が選ばれ、官民協働のプロジェクトチーム「木育推進プロジェクト」を立ち上げ、木育の推進について検討、平成17年3月に報告書「木育(もくいく)～木とふれあい、木に学び、木と生きる～」として理念や推進方法が取りまとめられました。

北海道における「木育」の展開

○木育推進事業

北海道では、翌年(平成17年度)から木育推進のための様々な取り組みを行っています。「子ども未来の森林づくり推進事業」として「わくわく!木育ランド(子どもたち向けの「木の遊園地」)やワークショップ(大人向けの学習会的な講演会)の開催、「赤ちゃん誕生記念植樹(乳幼児期から森林とふれ、親しむ機会をつくりだします)の実施、道内全市町村に「げんきの森」(森遊びの達人など、地域の大人たちと一緒に体験活動を行います)を設定してきました。

また、『木育』地域活動ネットワーク支援事業』として、地域における「木育」活動の実施、「学校での木育推進事業」として、教材の開発、モデル授業、普及啓発パンフレットの作成などを実施しました。

さらに、プロジェクトチームのメンバー有志を中心として任意団体「木育ファミリー」が発足、ホームページやメールマガジン「わくわく!木育通信」、パンフレット等による普及PR活動も実施してきました。

平成21年度には「まちじゅう木育プロジェクト推進事業」として、木育遊具等普及システム検討会議(全6回)を開催、木育遊具等モニタリング調査の実施、木育遊具パッケージシステム(ホームページ上で紹介し、現在も希望者に配布しています)の作成を行いました。

○木育マイスター育成事業

平成21年度にテキスト「木育達人(マイスター)入門」を作成し、平成22年度より「木育」の理念を十分に理解し、民間における「木育」活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たすことができる人材を育成するため「木育マイスター育成研修」を実施しています。

木育マイスター育成研修のカリキュラムは第1章「木育の理念」、第2章「木にふれ、木について学ぶ」、第3章「木と生きる～暮らしと産業」、第4章「木と生きる～人の成長と木の関係」、第5章「木育プログラムの伝え方」、第6章「木育プログラムのつくり

方」の全6章に分かれており、これらすべてのカリキュラムと実地研修を修了すると、「木育マイスター」として北海道知事に認定されます。

平成28年度までに200名の様々な経歴や職種を持つ「木育マイスター」が誕生し、「木育活動普及促進事業」や「木育の産業化等に向けた支援」などにより、「木育マイスター」が中心となって、民間企業(団体)等と協働により様々な木育活動を実施し、全道各地で活躍しています。

また、これから木育活動を進めていく方々に向けて、これまでに育った「木育マイスター」による木育活動を「木育事例集」として取りまとめ、ホームページ上で公開しています。

「木育next10」の開催

平成26年度に「木育」は10周年を迎え、これまでの木育の取組を振り返り、木育の新たなビジョンづくりのために「木育next10」を開催しました。

全道各地で木育活動をしている人の木育に寄せる想いや木育宣言を絵馬に書いていただく「木育絵馬プロジェクト」も同時に実施し、当日、参加者の手で平成16年の台風18号で倒れた北大ボラ並木の板で作った絵馬掛けに吊されました。(現在はむかわ町穂別の「むかわ木育の学校」にて保管)

「木育の今」に目を向け、官民協働で行ってきた「木育の推進」を未来へつなげる方向性をさぐり、目標を新たに次の10年に向かって歩き始めることを宣言して閉会しました。

今後の課題など

北海道では、平成28年3月の北海道森林づくり条例の改正により「木育の推進」を明記し、平成29年3月に改正された北海道森林づくり基本計画においても「木育の推進」を基本方向の1つとして、企業やNPOなどの民間、教育関係機関など多様な主体と連携した木育活動に加え、子育て世代や森林への関心の薄い層などへの木育活動を進めることとしています。

「木育」が道民に定着するまでには、まだまだ時間がかかると思われませんが、息の長い道民運動として「木育」が地域に定着していくよう、北海道としても、民間企業(団体)への働きかけや情報提供を行うなどして、普及に努めてまいります。

※本ページは、「地域づくり2015年12月号(発行 一般財団法人 地域活性化センター)」に掲載されたものを、筆者が加筆・修正したものです。

北海道水産林務部
森林環境局森林活用課
主査 阿部博美



木育マイスター

「木育」の理念を十分に理解し、木育活動の企画立案やコーディネートができ、指導的な役割を果たす人材(認定要領第1)。北海道では平成22年度から木育マイスター育成研修を実施。そのすべてのカリキュラムを修了した受講生を「木育マイスター」として認定しています(北海道知事による認定)。

木育マイスター育成研修

室内講義及び実習を前期・後期2日間ずつ計4日間。室内講義及び実習で修得した内容を実践するためのOJT研修を実施。
本冊子6ページ以降に(●期)の記載のある方は、木育マイスターの認定時期を示しています。
平成22年度の1期からスタートし、平成28年度の7期まで計200名が認定されています。



北海道認定 木育マイスター一覧(平成29年1月1日現在)

道央	阿部 侑之甫	仁木町	玉利 祐司	札幌市	目黒 さまり	函館市	藤田 博義	美幌町
	五十嵐 幸一	倶知安町	辻 礼次郎	美幌市	遊佐 智子	七飯町	水戸部 寿一	津別町
	石井 崇之	赤平市	穂本 陽	滝川市	吉田 泉昭	七飯町	山口 富美子	津別町
	石谷 成規	札幌市	坪江 利香	砂川市	道北			山田 邦夫
	石橋 哲也	札幌市	鶴田 恵利	積丹町	麻生 翼	下川町	山村 正彦	遠軽町
	市野 美佳	札幌市	富澤 祐二	札幌市	天野 裕幸	占冠村	十勝	
	今中 建男	石狩市	富永 まゆみ	苫小牧市	岩田 恵子	旭川市	有岡 繁	大樹町
	今村 浩子	札幌市	中村 信哉	札幌市	宇山 夕香里	東川町	安保 翔太	大樹町
	上道 和恵	厚真町	中村 裕	北広島市	大坪 良子	旭川市	沖田 一生	大樹町
	大石 拓人	むかわ町	中村 裕	札幌市	菅野 明人	旭川市	小原 和弘	帯広市
	大江 裕子	札幌市	西野 澄子	札幌市	木村 恵巳	東川町	小原 仁志	音更町
	大久保 佳美	苫小牧市	島山 拓也	札幌市	小山 靖之	旭川市	小原 勇一	音更町
	大塚 優佳	札幌市	浜詰 三裕姫	札幌市	近藤 めぐみ	旭川市	川内 和博	池田町
	大橋 祐介	登別市	早坂 美千代	栗山町	佐藤 秀靖	富良野市	高橋 清昭	新得町
	小笠原 誠	札幌市	福島 敬	石狩市	佐野 愉架	旭川市	日月 伸	帯広市
	小原 準平	札幌市	藤井 雅人	札幌市	下村 悠理	中川町	田中 隆伸	帯広市
	笠居 貴紀	札幌市	藤原 仁	北広島市	仙石 真理子	中富良野町	千葉 義子	帯広市
	桂 充子	札幌市	舟根 純	札幌市	津郷 幸弘	旭川市	寺部 千絵	大樹町
	加藤 恵子	札幌市	増田 幸子	札幌市	長岡 美恵子	旭川市	戸川 久美子	帯広市
	金澤 睦司	札幌市	松浦 裕一郎	札幌市	長島 弘幸	小平町	中嶋 祐輔	新得町
	兼沢 和治	札幌市	源 真紀	札幌市	長多 邦裕	当麻町	中村 修一	帯広市
	金田 結	札幌市	宮川 多恵	北広島市	中村 純夫	旭川市	中村 祐樹	大樹町
	河岸 さまり	岩見沢市	山下 泰範	札幌市	西中 まゆみ	旭川市	吹谷 真一	帯広市
	川岸 風太	札幌市	山田 奈那子	当別町	原野 有紀	占冠村	水野 早智	音更町
	菊地 三奈	札幌市	山田 晴康	札幌市	前田 あやの	旭川市	森 彩花	浦幌町
	北川 真紀子	札幌市	横田 博	江別市	松村 基子	旭川市	若槻 義近	芽室町
	木村 雅代	札幌市	渡邊 信也	平取町	山田 弥延	旭川市	釧路・根室	
	行天 純子	札幌市	道南		大和 正枝	旭川市	石川 聖江	中標津町
	清澤 光秋	札幌市	秋田 広樹	七飯町	横山 知己	利尻富士町	酒巻 美子	弟子屈町
	工藤 亜紀	札幌市	秋田 雅樹	七飯町	渡部 美弓	旭川市	柴田 智幸	中標津町
	工藤 恵里	札幌市	板垣 隆一	七飯町	オホーツク		柴田 真由子	浜中町
	幸坂 竜平	札幌市	越中 亮太	黒松内町	曾田 健雄	美幌町	鈴木 憲太郎	釧路町
	兒玉 泰治	札幌市	鍛冶 博史	函館市	曾田 テルミ	美幌町	高橋 秀明	釧路市
	後藤 菜摘子	石狩市	加藤 京子	七飯町	秋山 恵美子	斜里町	高橋 雄一	根室市
	齊藤 香里	札幌市	川畑 雄二	七飯町	伊藤 典子	斜里町	塚本 久仁佳	釧路市
	酒井 正人	札幌市	川畑 敏孝	七飯町	上野 真司	津別町	塚田 千恵子	根室市
	櫻井 善文	札幌市	佐久間 智江子	函館市	遠藤 哲則	北見市	中井 咲絵	釧路市
	佐藤 廉之	北広島市	佐々木 涉	七飯町	逢坂 里美	紋別市	萩原 寛暢	弟子屈町
	澤田 佳代子	ニセコ町	佐藤 育美	函館市	大須賀 一馬	小清水町	水口 郁恵	標津町
	信太 亜野野	札幌市	澤村 邦史	北斗市	鍛冶 博光	津別町	山本 光一	釧路市
	七戸 千絵	札幌市	鈴木 正樹	森町	門田 宜久	斜里町	道外	
	芝野 めぐみ	札幌市	関原 光	函館市	菊田 京一	紋別市	城戸 禮	岩手県
	鈴木 隆	豊浦町	田中 いずみ	七飯町	北山 雅俊	釧路市	笹森 映里	南極
	鈴木 雅彦	札幌市	谷目 美香子	函館市	近田 卓	北見市	高田 直紀	愛媛県
	須田 芳夫	札幌市	西壁 将世	七飯町	作田 直輝	北見市	戸巻 朋子	千葉県
	高木 貴剛	札幌市	丹羽 敬介	七飯町	島田 幸季	北見市	阪野 真人	京都府
	高野 克也	札幌市	丹羽 里美	七飯町	菅原 庸平	北見市		
	高橋 尚基	札幌市	丹羽 柚樹	七飯町	多田 昇	北見市		
	高橋 裕	北広島市	早坂 健二	森町	丹野 雅人	北見市		
	武岡 真吾	札幌市	福地 晴美	森町	徳永 秀康	北見市		
	中野 美智子	札幌市	藤田 朋大	七飯町	中島 紀男	北見市		
	田中 良	真狩村	藤田 真志	七飯町	羽根石 晃彦	北見市		
			村上 嘉子	厚沢部町	福士 大輔	津別町		



大工さんと木のここと学びながら
親子の時間の共有の場
すべての人が木とふれあう場として活動します

北海道子育て木育実行委員会の木育

北海道江別市で大工を営む「ゆうさん」こと木育マイスター松浦裕一郎さんによる木育のイベント。平成27年11月29日を皮切りに、平成28年10月30日の第12回までの一年間、仲間を集めてほぼ1人で取り仕切りました。

自作の木育ひろばだけでも驚きですが、ウッドネームプレートや木製パズル、コマ、鹿沼組子と様々なワークショップを開催。お弁当やスイーツ販売、ハンドメイドグッズショップなども充実させるなど、家族で楽しめる木育イベントとしての工夫が随所に見られる取組です。

※現在、大工のゆうさんと遊ぼう♪木育広場は充電のため小休止中です。



大工のゆうさんと遊ぼう♪木育ひろば

日時 平成28年3月27日
場所 むすめやホール大麻(江別市)
主催 北海道子育て木育実行委員会
後援 木工房 江建社
協力 むすめやホール大麻

ワークショップ(木の山づくり、ウッドネームプレート作り)、原木カスターネットづくり、きぼうづくり ほか

北海道子育て木育実行委員会

木材を利用した積み木などの玩具と遊具の広場を無料で開放し、大工さんと木のこことを学びながら親子の時間の共有の場、全ての人が木とふれあう場として活動しています

松浦裕一郎さん

木工房江建社代表。木育マイスター。職人歴20年木造住宅施工大工。江別を、特に大麻をこよなく愛する食いしん坊。大工の仕事で出た端材を、子どもたちの想像力と行動力で積んだり、組み立てたり。木製遊具の広場を通して、木とのふれあい、木を遊ぶ活動をして、木の暖かさを伝えていきたいと語ります。



釧路の木育の原動力の1つ
とても上手くまとめて、かつその気にさせて
最後まで楽しい木育の時間をつくります

釧路短期大学の木育

釧路短期大学では子育て支援ゼミを中心とした木育活動が行われています。釧路市や釧路森林資源活用円卓会議との協働による木製遊具の開発や監修、幼児教育学科の学生を対象とした木育教室、幼児教育における自然体験の大切さを学ぶために帯広の森・はぐくむでの研修(P2)など、その活動は多岐にわたります。

作業台やパンフレット置きなどの備品にも地元産の木材を優先的に使うなど、大学をあげた木の地産地消の取組も行われています。



▲学生を対象とした木育教室



▲木製遊具「ままことほす・きっちん」の開発

釧路短期大学

昭和39年釧路女子短期大学として開設。生活科学科(生活科学専攻・食物栄養専攻)と幼児教育学科の二科を有する。

塚本久仁佳さん

釧路短期大学幼児教育学科准教授。子育て支援ゼミを担当。臨床心理士として、子どもの発達相談やカウンセリング等をおこなっている。木育マイスター。木育に興味を持ったきっかけは、子どもに木のおもちゃを触れさせたいという思いから。子どもたちが木とふれあいながら成長していくことが当たり前のこととなるよう、人を含めあらゆる環境に働きかけたいと抱負を語ります。



地域のごももたちが楽しめる手作りのイベントを開催したい。そのような幼児教育学科の構想が、日常の授業とゼミ活動を組み合わせ、学科の学生全員がスタッフとして主体的に関わるイベントとして平成26年度から開始。そのうち、くしろの木を使った木工作などができる「木のおもちゃであそぼう」コーナーでは、学生が木育マイスターとともに運営。

KJCランド

日時 平成28年1月17日
場所 釧路短期大学(釧路市)
主催 釧路短期大学
ブース出展 釧路市産業推進室
講師 中井咲絵(6期)

(木育ブース)木のおもちゃであそぼう、木育教室～木のおうちをつくらう

